

t a l k

10〜く&コンサートおかざき

2014.5.31 15:00〜16:30

赤松林太郎先生

レクチャー・トークコンサート

「四期」の知っておくべきこと〜作曲家とその時代の音楽的語法〜



Program

《バロック》

- J.S.バッハ：メヌエット ヘ長調 BWV Anh.113
- J.S.バッハ：シンフォニア 第 11 番 ト短調 BWV.797
- J.S.バッハ：フランス組曲 第 3 番 口短調 BWV.814 より
アルマンド、ジーク
- スカルラッティ：ソナタ ハ長調 K.159
- スカルラッティ：ソナタ ト長調 K.63
- ヘンデル：組曲 第 11 番 HWV.437 より
アルマンド

《クラシック》

- モーツァルト：ピアノソナタ ヘ長調 KV.280 より 第 1 楽章
- ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 8 番 Op.13「悲愴」

《ロマン》

- ブルグミュラー：せきれい
- メンデルスゾーン：6つのこどものための小品 第 2 番 Op.72-2
- シューマン：子供の情景 Op.15 より トロイメライ
- ショパン：スケルツォ 第 1 番 Op.20
- ワーグナー（リスト編曲）：イゾルデの愛の死

《近現代》

- ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女
- アプシル：小さな羊飼い
- デュティユー：田園詩
- イベール：水売り女
- 三善晃：波のアラベスク
- バルトーク：3つのチーク県の民謡
- ピアソラ（山本京子編曲）：リベルタンゴ

曲目はやむを得ない理由により変更になる場合がございます

1978 年大分生まれ、2 歳よりピアノとヴァイオリンを、6 歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5 歳の時に小曽根実氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10 歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990 年に第 44 回全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993 年には仙台市教育委員会より平成 5 年度の教育功績者に表彰される。1996 年の第 1 回浜松国際ピアノアカデミーに参加、最終日のアカデミーコンクールにてファイナリストに選抜される。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得（室内楽は全審査員満点による）。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチュツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。2000 年に第 3 回クララ・シューマン国際ピアノコンクール（審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど）で第 3 位を受賞した際、Dr. ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。国際コンクールでの受賞は 10 以上に及ぶ。デュッセルドルフ、パリ、ブダペストのヨーロッパ在住中、数々の音楽祭やリサイタルに出演。これまでの主な公演は、ニューヨーク(1993)、サンクトペテルブルク(2000)、デュッセルドルフ(2001/2013)、台北(2002)、パリ(2003-2005)、第 6 回別府アルゲリッチ音楽祭(2004)、ローマ(2005)、ブダペスト(2005-2007)、フラスカーティ(2007)、ボゴダ(2010)、ウィーン(2013)など 10 か国以上に及ぶ。日本では年間 60 回のコンサートを行い、東京交響楽団やロイヤルメトロポリタンオーケストラなどと共演。NHK 交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの公開録音で音源 (YouTube) に残している。2014 年にはキング・インターナショナルから新譜リリース。200 名近い生徒を抱えており、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っている。「美しいキモノ」ではモデルも務める。日本音楽表現学会、日本フォーレ協会、関西ハンガリー交流協会の各会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。2010 年ピティナ新人指導者賞、2012 年よりピティナ指導者賞（特級グランプリなど輩出）。2014 年より日本リスト協会専務理事。

第 1 部 13:00〜14:30

クラウディオ・ソアレス先生 セミナー

第3部 17:30〜19:30

杉浦日出夫先生 公開レッスン

美しい響きをめざして〜魅力的な演奏のための魔法のレッスン〜